

# 第 2 回 環 境 審 議 会 会 議 概 要

日 時：平成 19 年 9 月 26 日（水）午前 10 時から 12 時

場 所：穂高支所 2 階南会議室

出席者：環境審議会委員 13 名出席

環境基本計画策定員 6 名出席

事務局 4 名出席

傍聴者なし

## 議 事 録

挨拶 ・環境審議会 降旗会長  
・環境基本計画策定委員会 山田副会長

### 1. 環境基本計画の策定経過及び今後の日程について

事務局より経過概要及び今後の日程を説明

山田副会長より詳細な経過を説明

### 2. 環境基本計画素案案についての策定委員との意見交換

(委員) 重点施策の優先度 A が半分もある。多すぎないか。A の A をつくった方がいいのでは？

(策定委員) 前回委員会の中でも同じ課題があったので、全体の中で見直す方向で考える

(委員) 進行管理は指標で管理した方がよい

(策定委員) ゴミ関係で検討してみたが、はたして実現可能なか疑問。まだ検討が必要、もっと研究する必要がある。

(委員) アンケートは同項目で毎年実施し、数値の変化を見たほうがよい

(委員) この計画は何を言いたいのか、環境問題とは何か、環境問題には影がある「実行と影」、環境は地球問題、取組は個人的になる。PDCA サイクルには、目標をはっきりとさせる必要がある。

細かいところはよくできているが、全体の流れをはっきりとさせた方がよい

(委員) 景観地区協定の会長をやっている。地域の人が、全体で取り組めるような計画にしてほしい。

第 2 章の中で、穂高は不毛地帯との標記および拾カ堰の部分の表現を変えてほしい。

(コンサル) 了解

(委員) 生ごみ（食べ残し）を減らすためにどうするのか（もったいない精神）をもっと具体的に強調してほしい

(委員) 自然と共生してきたが、自然を壊してきたのは人間、少子高齢化を迎え、環境問題を考えていかなければならない。業者の過剰包装をしない等・・・

(委員) 一人ひとりの生活態度の見直しが必要

項目が多すぎないか、自分からできることという表現を入れていない、専門的な表現がまだ多い

「夜間、コンビニ等へ立ち寄らない」の表現の訂正をしてほしい

(委員) 影の部分を考えてほしい

環境課職員の人数を増やして、現場へ出て市民と話して活動してほしい

(委員) P 3 の体系図で「総合計画」と「環境計画」と同列に表示してほしい

推進体制のフロー図の庁内会議では、対応が遅い。もっと行政が先回りして推進すべきだ。縦割行政がおかしい。基本的事項や進行管理の部分がない。たった 50 年で大きく環境が変化したのだから、もっと将来を見据えて作成すべきだ。

(委員) この計画について、細かいところへの意見や打合せは、いつできるのか？

(事務局) 10 月にはパブコメ実施、11 月には審議会審議となるので、そこでもお願いしたい

(委員) この計画を各区長まで下ろし、それを積み上げて、まとめればどうか。市民全員で議論する場が

あればよい

**(策定委員)** 素案の段階では、全てのを盛り込むのは無理。今後、1～2年かけた中で行動計画を作成していきたいと思っている。数値目標もこの中で検討していく。すぐにやることは第5章推進体制の仕組みをまず作ること、市全体としてどう取り組むかが大事と考える

P3は法的な位置づけだが、思いは同列である。実践するための行動計画の位置付けは、市民と行政が協働していくことである

(委員) 最初に全体像を理解させるように編集したらどうか

**(策定委員)** 細かいところは資料編に移動した経過がある。全体像の場所については、検討したい

(委員) P3の環境基本計画の位置付けは？総合計画と環境計画は対等ではないのか？

(事務局) 総合計画は全体的な大まかな計画であり、環境基本計画はその下の環境部分の計画

(委員) 環境のために取り組むという姿勢であれば、位置はどこでもいい

**(策定委員)** 何のための計画かの質問についてですが、一番大事なことは、P25「価値観の転換」を理念としてうたっている

(委員) その「価値観の転換」を前文に持ってきたほうがよい

**(策定委員)** 市では環境宣言を出していない。審議会としても環境宣言を出すよう働きかけをしてほしい

(委員) 計画内容を行政に活かしてほしい。行政がこの計画をどのくらい大事にしてくれるか？

(事務局) 策定委員の意見を尊重して、策定をしてきた。今後はこの計画の推進状況を市民も含め、監視できる体制を作るよう策定委員に依頼してある。

**(策定副会長)** P75推進フローを説明、この推進会議を中心として推進していく。今までもイベント等できるところから実行してきた。ご理解をいただきたい。

(委員) 策定委員ががんばっていることは充分承知している。行政の姿勢がおかしいと思う

**(策定委員)** 第1章の構成については、ここでもう少し全体の説明ができるよう検討したい

**(策定委員)** 本当はこういう気持ちでこの計画を作った、こういう考え方で作った、これを目指している、この計画の読み方とかを前文で記載できたらいいと思う

**(策定委員)** ゴミについて見直しをした段階で落ちた部分があるので、再度見直したい

**(策定委員)** 植生図等についてもどの程度まで入れるか、もう少し検討したい

(委員) P38緑を増やすと枝や葉等燃えるゴミの量も増えるが・・・検討してほしい

**(策定委員)** P54からの「空気・土壌」で表現している

(委員) P64地熱と地中熱とは違うが・・・地中熱は今後、有効利用が期待されているので検討してほしい

**(策定委員)** P63導入計画の部分で検討する

(委員) まきストーブ利用者とニセアカシアやりんごの木の剪定枝の処理に困っている人との情報交換会を実施すればどうか。資源を有効に使うシステムがほしい

**(策定委員)** 現状、薪として使用できないものは、焼却しているので、トータルで考えて検討したい

(委員) P75「推進会議」の枠は大きいほうがいい。文章でその必要性をもっと大きく説明したほうがいい

(地方事務所) 指数や指標は、数値で出せるものは、メリハリをつけるためにも、出したほうがいい

(委員) ダイジェスト版にもP77以降の資料編を掲載した方がいい。そちらの方が市民にわかりやすく書かれている

(降旗会長) 市として計画を市民に実行してもらい、守ってもらうことを一目でわかりやすくしたものがよいと思う

安曇野市の中にも県から委嘱された自然インストラクターや自然レンジャーの方がいる。またこの中には環境審議会委員や環境基本計画策定委員として何名かが活躍している。

今後も皆さんの活躍を期待する